

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
HOUSE 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	shu_hei/OHISHI/KAZZ/Takky			実務 経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
<p>【shu_hei】 TOKYOFOTWORKZ所属。パフォーマンス、振り付け、バトル等国内外で精力的に活動中。クリアに音楽を表現する多彩かつ野性味のあるステップ、遊びの効いた表現、そして独特のリラックス感が持ち味。Dance@live、Japan Dance Delight ファイナリスト。</p> <p>【OHISHI】 ハウスダンスチーム『SODEEP』に加入し活動中。TRFをはじめとするアーティストPV、バックダンサー、ダンスDVD等に出演、東京を中心に全国各地のパーティにて活躍。DJとしてのキャリアも15年以上、国内外様々なDJと交流を持ち多数のパーティに携わり、現在VISIONで開催されている『JAPAN MUSIC CONFERENCE』にDJとして参加。</p>											
授業概要											
この科目ではストリートダンスを修得するうえで必要なストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ハウスダンスのステップやコンビネーションを理解して作品を作る事を目的とします。ハウスダンス特有の早いテンポの音楽とダイナミックな動きを習得し、ダンスの表現の幅を広げていきます。また、ダンスバトルやコンテスト等のストリートシーンでの活躍を目指せるダンサーの資質を育てます。											
到達目標											
講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。											
授業方法											
ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。											
成績評価方法											
試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する									
レポート	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	shu_hei先生のストレッチ、アイソレーションを習得する										
第2回	shu_hei先生のリズムトレーニングを習得する										
第3回	shu_hei先生の基礎的なステップ①を習得する										
第4回	OHISHI先生のストレッチ、アイソレーションを習得する										
第5回	OHISHI先生のリズムトレーニングを習得する										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
HOUSE 1	
第6回	OHISHI先生の基礎的なステップ①を習得する
第7回	KAZZ先生のストレッチ、アイソレーションを習得する
第8回	KAZZ先生のリズムトレーニングを習得する
第9回	KAZZ先生の基礎的なステップ①を習得する
第10回	Takky先生のサイドワークを中心とした基礎ステップを習得する
第11回	Takky先生のシャッフルステップを習得し、サイドワークを復習する
第12回	Takky先生のサイドワークとシャッフルステップを連続して動けるようにする
第13回	OHISHI先生の基礎的なステップ②を習得する
第14回	OHISHI先生の基礎的なステップ③を習得する
第15回	OHISHI先生のコンビネーション①を理解する